

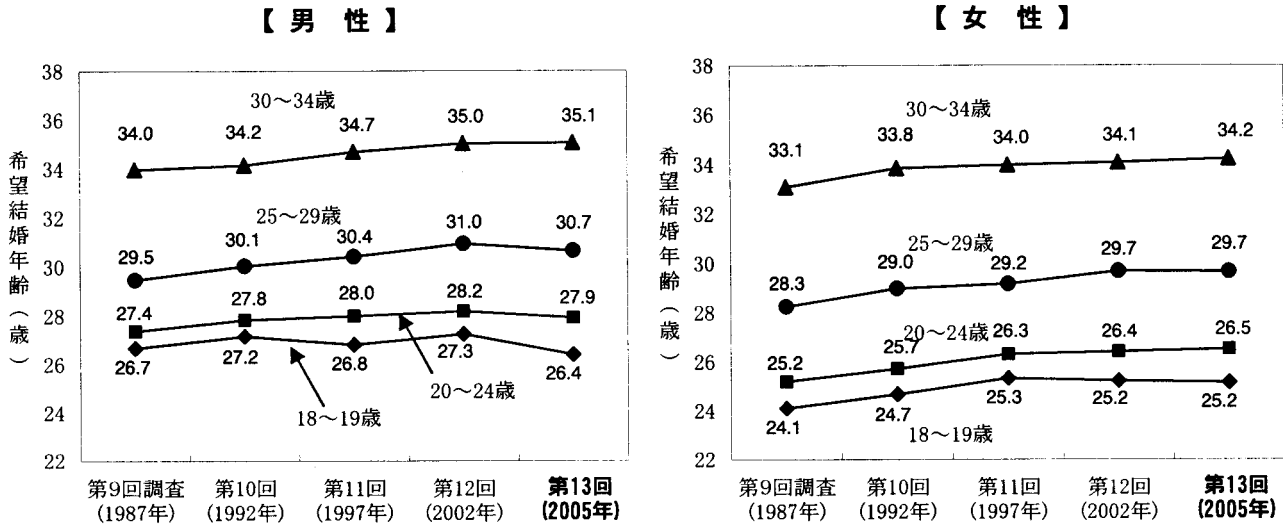
3. 希望の結婚像 - どんな結婚を求めているのか -

(1) 希望する結婚年齢

希望する結婚年齢の上昇傾向にほぼ頭打ちが見られる

未婚者が結婚したいと思う年齢(平均希望結婚年齢)は、ほとんどの年齢層において上昇が続いていたが、今回の調査ではおおむね上げ止まっており、男性ではわずかに下がる傾向も見られる。

図3-1 年齢別にみた、未婚者の平均希望結婚年齢の推移

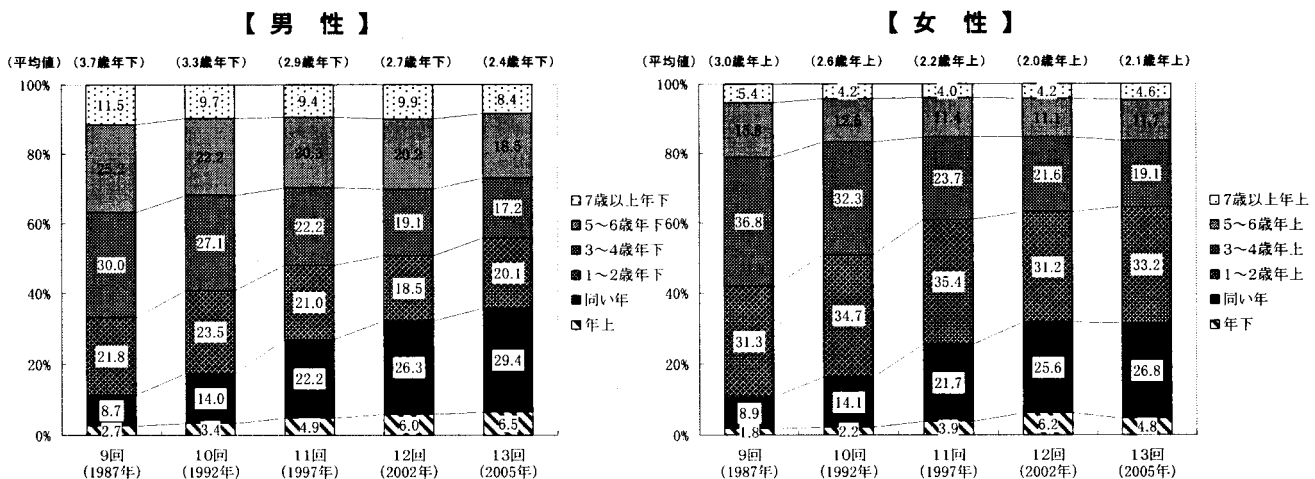


注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18~34歳未婚者。

年齢の近い結婚相手を望む傾向、女性では一段落

結婚相手との年齢差についての希望を見ると、近年、男女ともに縮小傾向にあり、未婚者間で年齢の近い相手(とりわけ同い年の相手)を希望する人が増えてきた。しかし、今回調査では女性でこの変化傾向に一定の休止が見られ、一段落を示している。

図3-2 調査・年齢別にみた、結婚相手との希望年齢差の構成



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18~34歳未婚者。希望する結婚相手との年齢差は、対象者が希望する本人と相手の結婚年齢の差。不詳を除く構成。図の上部()内は希望年齢差の平均値。なお、夫婦調査による実際の夫妻年齢差(調査時点より過去5年間に結婚した夫婦)は、第9回調査(1987年)2.9歳、第10回(1992年)2.6歳、第11回(1997年)2.4歳、第12回(2002年)1.7歳、第13回(2005年)1.7歳。

(2) 希望するライフコース

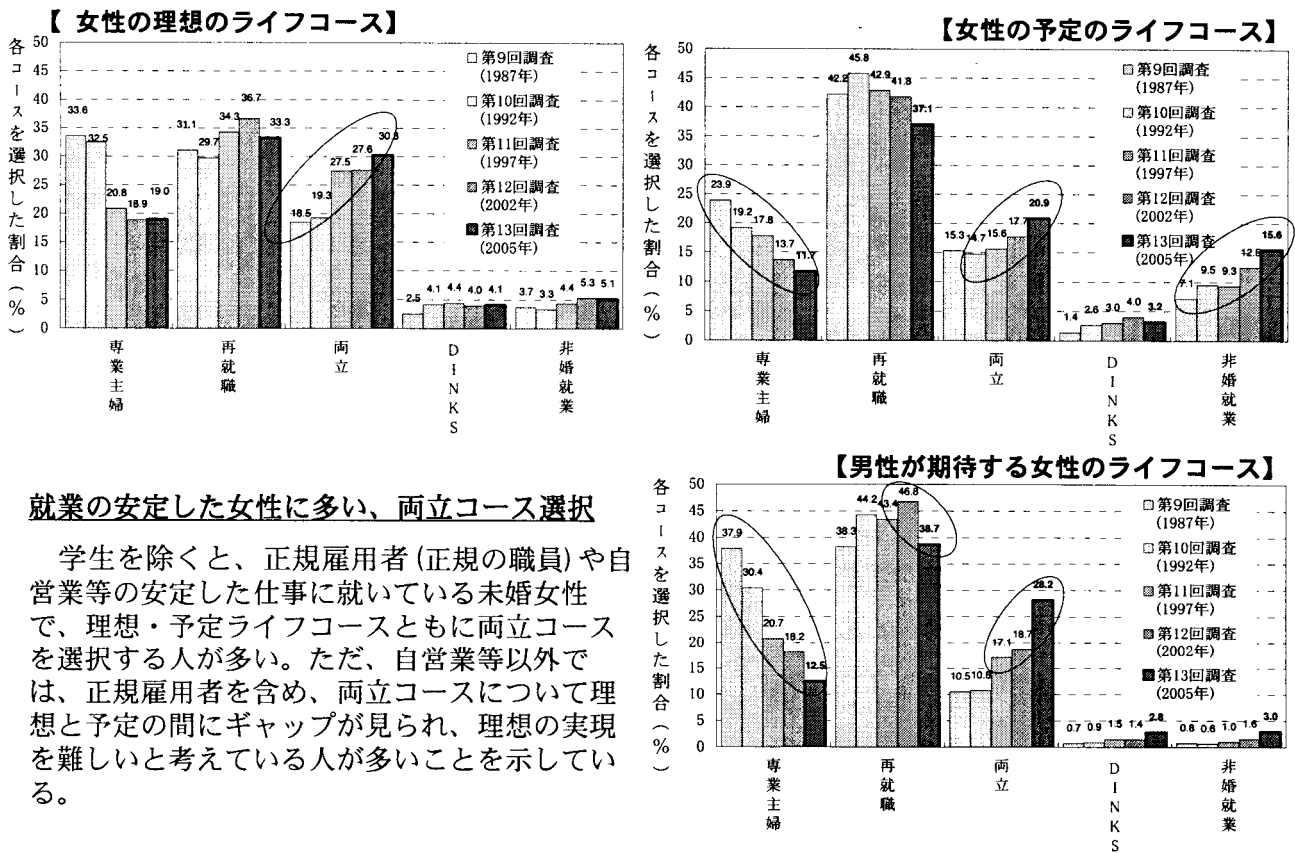
未婚女性の理想、予定のライフコースで「両立」が増加、女性に両立を期待する男性も約3割に

未婚の女性が理想とするライフコース(理想のライフコース)と実際になりそうだと考えるライフコース(予定のライフコース)では、ともに両立コースが増加した。一方で、再就職コースは減少している。予定のライフコースでは、専業主婦コースの減少傾向と非婚就業継続コースの増加傾向が続いている。男性がパートナーとなる女性に期待するコースでも両立コースが3割近くに達し、専業主婦を望む人は13%と急速な減少傾向が続いている。

ライフコースの説明：

- 専業主婦コース = 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない
- 再就職コース = 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ
- 両立コース = 結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける
- DINKSコース = 結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける
- 非婚就業コース = 結婚せず、仕事を一生続ける

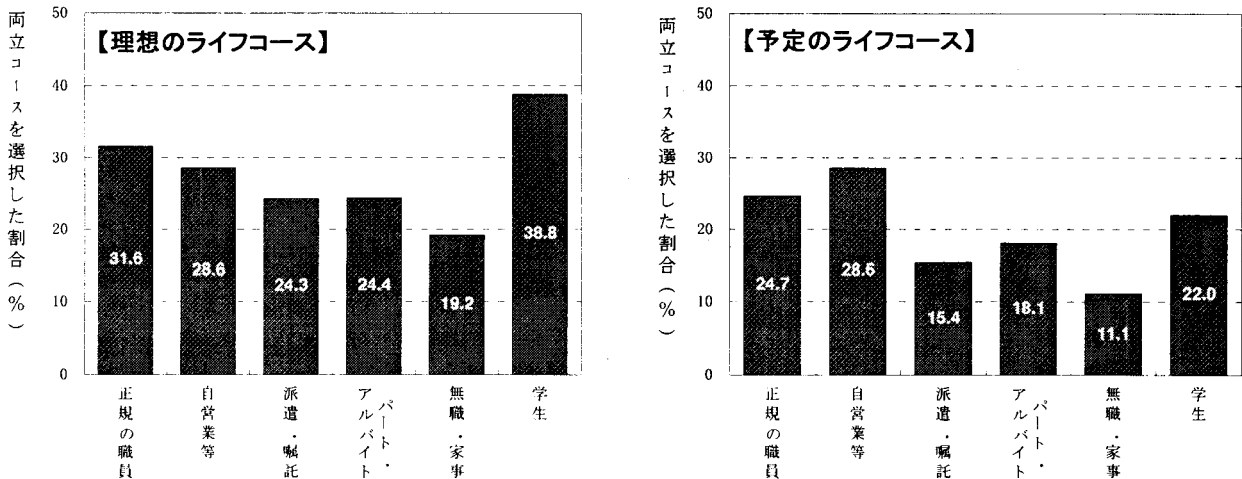
図3-3 調査別にみた、未婚女性の理想・予定のライフコース、および男性が期待する女性のライフコース



就業の安定した女性に多い、両立コース選択

学生を除くと、正規雇用者(正規の職員)や自営業等の安定した仕事に就いている未婚女性で、理想・予定ライフコースともに両立コースを選択する人が多い。ただ、自営業等以外では、正規雇用者を含め、両立コースについて理想と予定の間にギャップが見られ、理想の実現を難しいと考えている人が多いことを示している。

図3-4 就業の状況別にみた、両立コースを理想・予定とする未婚女性の割合



注:対象は18~34歳未婚者。総数における両立コース選択割合は、理想コース30.0%、予定コース20.9%。就業の状況の構成については付表5(巻末)参照。

(3) 子ども数についての希望

未婚男女の希望子ども数は下げ止まり傾向

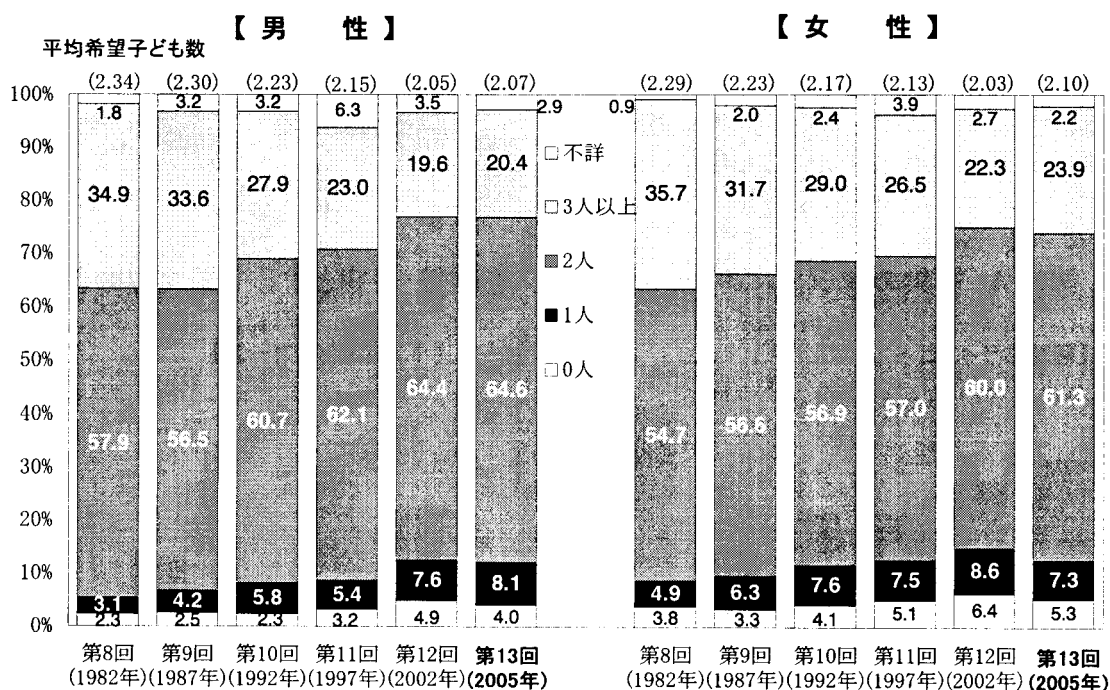
「いずれ結婚するつもり」の未婚者が希望する平均子ども数は1982年の調査開始以来減少する傾向にあったが、今回調査では男性2.07人(前回2.05人)、女性2.10人(2.03人)で、下げ止まりが見られた(表3-1)。希望子ども数の分布にも前回調査(2002年)からは大きな変化は見られない(図3-5)。また、希望子ども数は従来は男性の方が多い傾向にあったが、しだいに男女差が縮小し、今回は女性の数値が初めて男性を上回った。

表3-1 調査・年齢別にみた、未婚者の平均希望子ども数

【 男 性 】						
結婚 持続期間	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
18～19歳	2.32	2.30	2.19	2.21	2.18	2.15
20～24歳	2.35	2.30	2.25	2.15	2.05	2.11
25～29歳	2.37	2.30	2.22	2.14	1.99	2.05
30～34歳	2.30	2.26	2.21	2.13	1.98	2.01
総数(18～19歳) (標本数)	2.34 (2,573)	2.30 (2,929)	2.23 (3,672)	2.15 (3,203)	2.05 (3,270)	2.07 (2,652)
【 女 性 】						
結婚 持続期間	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
18～19歳	2.35	2.29	2.20	2.25	2.13	2.23
20～24歳	2.34	2.26	2.22	2.16	2.09	2.18
25～29歳	2.18	2.18	2.10	2.13	1.98	2.03
30～34歳	1.90	1.83	1.90	1.76	1.87	1.84
総数(18～19歳) (標本数)	2.29 (1,970)	2.23 (2,371)	2.17 (3,212)	2.13 (3,093)	2.03 (3,001)	2.10 (2,698)

注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。平均希望子ども数は5人以上を5として算出。

図3-5 調査別にみた、未婚者の希望子ども数の分布

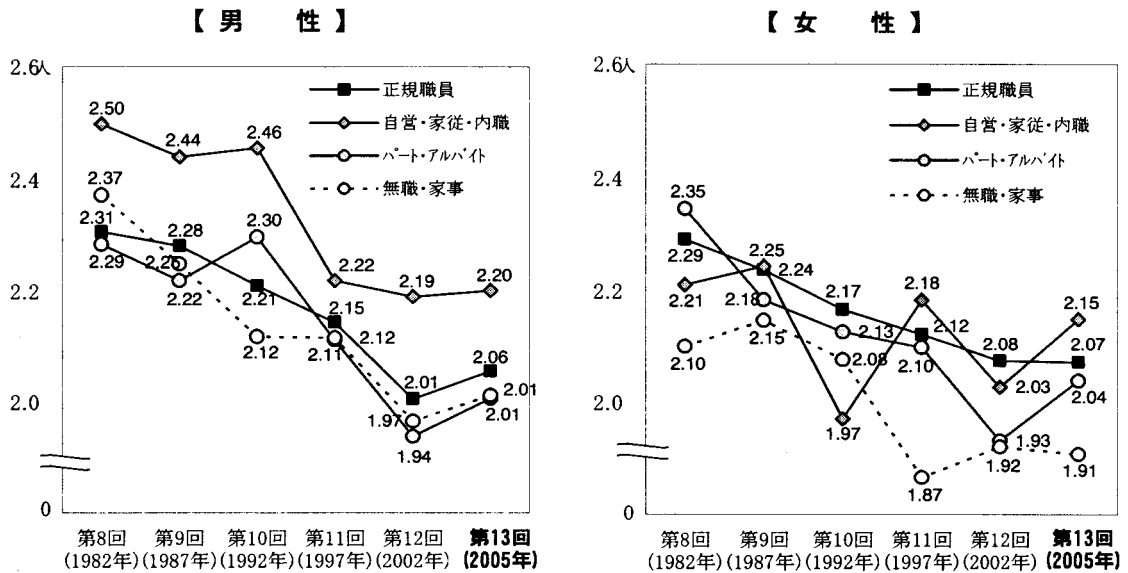


注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。図の上部()内は平均希望子ども数。

自営業の男性未婚者、およびきょうだい数の多い未婚男女で、希望子ども数が多い

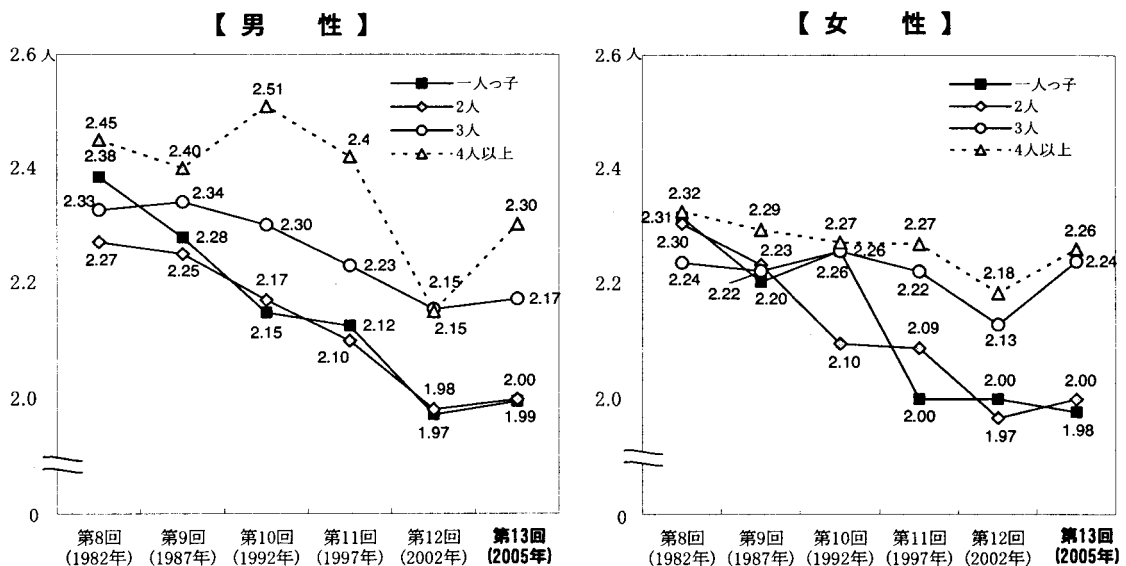
就業の状況別に未婚者の希望子ども数を見ると、男性では自営・家族従業等でとくに多く、男女とも無職・家事の場合に少ない傾向が見られる(図3-6)。非正規就業者(パート・アルバイト)の場合、正規雇用者(正規の職員)に比べて男女ともわずかに少ない傾向があるが、差は小さい。また、本人のきょうだい数別に希望子ども数を見ると、一人っ子や2人きょうだいに比べて3人以上のきょうだいの場合に希望子ども数が多い傾向が見られ、最近の調査ほどその差が顕著になってきている(図3-7)。

図3-6 就業の状況別にみた、未婚者の平均希望子ども数の推移



注：対象「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。希望子ども数は5人以上を5人として算出。就業の状況の構成については付表5(巻末)参照。

図3-7 本人のきょうだい数別にみた、未婚者の平均希望子ども数の推移



注：対象「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。希望子ども数は5人以上を5人として算出。